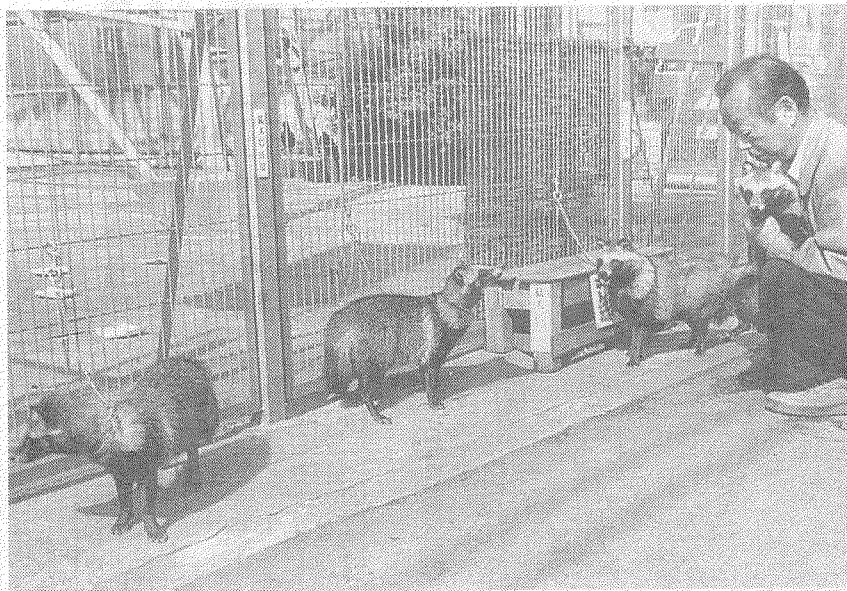


5匹の子ダヌキ 人気絶頂

豊中 4月に誕生、古谷さん飼育



好物はウナギ

いま40センチに成長
都会にも慣れて

豊中市豊南町西三の中古車販売店「ボンコツ倶楽部」で飼われていたタヌキの夫婦に、子ダヌキ五匹が誕生し、すっかり町の人気者になっている。

経営者の古谷勇治さん(五

十六)がタヌキを飼うようになったのは昨年の八月から。故郷の宮崎県日向市ではく製になりかけていたタヌキを見つけ、かわいそうになって買いとった。また、一カ月後には同県串間

市の漁港で溺れかけていたオスタヌキを救出。豊中の店につれて帰り二世の誕生を心待ちにしていた。今年四月末、体長十センチの子ダヌキ五匹が誕生。母乳のほか、粉ミルクでも育て、夏ごろから近所のすし屋でもらうウナギが大好物になったという。

現在では体長四十センチまでに成長。昼間はずっと活動して夜、眠るなど本来の夜行性を忘れ、都会の生活に慣れているという。

名前は付けられていないが、古谷さんは「一匹ずつ性格も違い、見ていてあきない。最後まで面倒をみてもらえるなら譲ってもいい」と話している。

赤ちゃんタヌキを抱く古谷さん